

6 医政第 4 4 3 号  
令和 6 年 1 2 月 1 9 日

各 病 院 長 様  
(がん検診実施医療機関)

長崎県医療政策課長  
(公 印 省 略)

令和 6 年度長崎県がん検診精度管理医師等研修会の開催について (ご案内)

本県の保健医療行政の推進につきまして、格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、がん検診の精度管理の向上を図るため、下記のとおりがん検診の精度管理医師等研修会をオンライン (Zoom) で開催いたしますのでお知らせします。

つきましては、貴院職員の出席についてご配慮いただきますようお願いいたします。

なお、研修会の出席につきましては、大変お手数ですが、下記の申込方法により、ご記入のうえ、**開催日の 10 日前まで**に、メールにてご返信していただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和 7 年 2 月 1 6 日 (日) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0  
令和 7 年 3 月 1 6 日 (日) 1 1 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0  
令和 7 年 3 月 2 3 日 (日) 1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0
- 2 参加方法 オンライン (Zoom) 開催  
参加者確定後、長崎県健康事業団からテレビ会議招待メールが届きます。
- 3 参加費 無料
- 4 内 容 別添「令和 6 年度がん検診精度管理医師等研修会開催要領」のとおり
- 5 申込方法 (公財) 長崎県健康事業団のホームページ (<https://www.npmhc.jp/>)  
の**トピックス**より「令和 6 年度がん検診精度管理医師等研修会参加申込票」をダウンロードし必要事項を記載のうえ下記のメールへ返信をお願いします。
- 6 備 考 本研修会は「長崎県がん検診精密検査実施医療機関登録制度」の要件を満たす研修会として指定されております。  
また、「肺がん検診の手引き」にて読影医の条件に挙げられている「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」として認定されております。

(本件に関する問い合わせ先)

公益財団法人長崎県健康事業団

事務局 濱崎 敏朗

TEL 0957-43-7131 (代表)

Fax 0957-43-7139

メール : [jigyoudan2@npmhc.jp](mailto:jigyoudan2@npmhc.jp)

## 令和6年度長崎県がん検診精度管理医師等研修会開催要領

### 1 目的

がんによる死亡者を減らすためには、がんの早期発見・早期治療が重要であり、長崎県では科学的根拠に基づくがん検診の実施を推奨している。

長崎県がん対策推進計画（第4期）の中で、科学的根拠に基づくがん検診の実施体制の充実を図るため、「事業評価のためのチェックリスト」を活用することとしており、当該チェックリストでは、がん検診従事者を対象とした講習会を開催することとしている。

本県においても、がん検診に従事している医師等を対象とした研修会を開催することで、がん検診従事者の資質の向上を図る。

### 2 主催 長崎県、公益財団法人長崎県健康事業団

### 3 開催日程

○令和7年2月16日（日）13:30～16:30

○令和7年3月16日（日）11:00～14:30

○令和7年3月23日（日）10:30～11:30

### 4 研修対象者 長崎県内のがん検診に携わる医師、細胞検査士、診療放射線技師、臨床検査技師等

### 5 参加方法 オンライン（Zoom）開催

### 6 参加費 無料

### 7 研修内容

#### 令和7年2月16日（日）

##### 13:30～14:30 第1部：胃がん検診（内視鏡）及び大腸がん検診（便潜血検査）

座長 山根内科胃腸科医院 院長 山根 豊 先生

演題 早期発見が命を救う：胃癌・大腸癌検診における内視鏡・便潜血検査の重要性

講師 長崎大学病院 消化器内科（光学診療部）准教授 山口 直之 先生

##### 15:30～16:30 第2部：乳がん検診

座長 地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター 乳腺外科部長 矢野 洋 先生

演題 「早期発見の力：乳がん検診とプレストアウェアネス」

講師 長崎大学病院 移植消化器外科（第二外科）講師 久芳 さやか 先生

#### 令和7年3月16日（日）

##### 11:00～12:00 第1部：肺がん検診

座長 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床腫瘍学 教授 芦澤 和人 先生

演題 「今更ながらの胸部単純X線写真：Back to the Basics」

講師 医療法人友仁会 友仁山崎病院・病院長 高橋 雅士 先生

##### 13:30～14:30 第2部：胃がん検診（エックス線）

座長 公益財団法人長崎県健康事業団 画像診断部長 木田 勲 先生

演題 「胃がん検診 2025—福岡地区胃集検読影研究会設立50周年を迎えて—」

講師 佐田厚生会 佐田病院 放射線科部長 平賀 聖久 先生

#### 令和7年3月23日（日）

##### 10:30～11:30 子宮頸がん検診

座長 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 産科婦人科学教室 教授 三浦 清徳 先生

演題 「子宮頸がん予防の最新情報～HPV検査単独法による子宮頸がん検診の話題も含めて～」

講師 横浜市立大学附属病院産婦人科学教室 主任教授 宮城 悦子 先生

「肺がん検診の手引き」にて「読影医の条件」に挙げられている「症例検討会・読影講習会」の実施要項

## 1. 肺がん検診のための胸部単純 X 線症例検討会

- ① 胸部 X 線検診例の肺癌に関する画像読影を主としたものに限る。胸部 X 線検診の画像読影結果と臨床経過を把握・検討することを通じて検診の精度管理にも有用であることから、最も推奨する。自施設・自地域で実施した検診に関する症例検討会であることが、精度管理の面からも読影力向上の面からも最適である。
- ② 具体的な症例検討会の開催方法については、日本肺癌学会ホームページの「肺がん検診について」のページを参照。時間は通常 1 時間～2 時間程度だが、最低でも 30 分は必要である。
- ③ 「胸部 X 線検診の判定基準」に関する説明・確認を含む必要がある。
- ④ 医療機関での臨床例・手術例などに関する症例検討会は含まれない。
- ⑤ 症例検討会を開催した組織（検診機関・医師会・自治体など）は必ず「参加証・受講証」を発行する。「参加の証明」は必ず「参加証・受講証」にて行う。

## 2. 肺癌診断を主とした胸部 X 線読影講習会

- ① 日本肺癌学会としては、精度管理の面からも「肺がん検診のための胸部単純 X 線症例検討会」の実施を強く推奨する。やむを得ず開催できない場合などには、以下に示すような条件のもとで実施された「肺癌診断を主とした胸部 X 線読影講習会」への参加をもって代替できる。「当該講習会への参加の証明」は必ず「参加証・受講証」にて行い、その発行の規程は以下の内容に従う。
- ② 日本肺癌学会学術集会時の「肺がん検診読影セミナー」への参加（WEB 参加を含む）は「肺癌診断を主とした胸部 X 線読影講習会」として認定する。認定に必要な参加時間などは「参加証発行」の規定に従う。
- ③ それ以外の読影講習会の場合には、以下のすべての条件を満たす必要がある。
  - I. 「肺癌診断を主とした胸部 X 線読影に関する講習」部分が、質疑を含めて 60 分以上である。
  - II. 「胸部 X 線検診の判定基準」に関する説明・確認を含んでいる。
  - III. 実講習の場合には、講習の開始時と終了時に参加していることを確認し、「全講習内容を受講した者」のみに「参加証・受講証」を発行する。
  - IV. WEB 下の読影講習会の場合には、以下の内容が求められる。
    1. 視聴のログの把握ができることは必須。
    2. 内容が「I、II」を満たしていることは必須。
    3. 配信のビデオ品質は、胸部 X 線画像の配信に十分な画質で行う必要があるため、解像度は最低でも HD（720p）以上を目標とする（注 1）。
    4. 受信側は画面サイズ 10.1 インチ以下のタブレットやスマートフォンなどの、いわゆるモバイルデバイスでの受講は避け、少なくとも解像度 1 メガピクセル以上のモニター（注 2）で、全画面モードで受講する。主催者側は、適切なモニターなどの条件に関して受信者側に通知を行う。可能であれば DICOM Part14 にキャリブレーションされたモニターが望ましい。

5. 講習内容に「小テスト」「視聴パスワード」などを挿入することにより「視聴の確認や理解度のチェック」を行うことが望ましく（注3）、現時点で実施困難であれば実施できるよう検討する。
  6. 「参加証・受講証」は、視聴ログにて「講習内容を100%視聴した者」のみに発行する。  
「5」のような「視聴確認」を行った場合には、「100%視聴して、かつ視聴確認ができた者」のみに発行する。
- V. 講習会開催の3か月前の月の1日～10日までの間に「日本肺癌学会 肺がん検診委員会」あて（メールの宛先は office@haigan.gr.jp）に所定の「認定申請書」を提出し認定を受け、日本肺癌学会ホームページの「肺がん検診について」のページで認定を受けたことが公表されたものであること（結果は申請月の月末までに公表される）。ただし、この認定申請制度は2022年3月現在未発足なので、正式発足までは本条件は省略可能である。正式な申請受付の開始は2022年5月1日を予定しているので、2022年8月以降に予定するものは事前申請が必要である。
- VI. 講習会開催後1か月以内に「日本肺癌学会 肺がん検診委員会」に所定の「講習会開催報告書」を提出すること。ただし、認定申請制度の正式発足までは本条件は省略可能である。

注1) ZOOMやGoogle Meetなどの一般的な配信システムでもHD画質は設定可能である。

注2) 1メガピクセル以上のモニタとは、WXGA+(1440X900)、SXGA(1280x1024)など以上の解像度を有するものである。

注3) 視聴の確認や理解度のチェックは、多くの配信システムにおいて「アンケート機能・クイズ機能」を利用することにより、容易に実行可能である。

### 3. 胸部X線画像の読影を主としたWEB下の読影演習

- ① 日本肺癌学会が提供する「肺がん検診のための胸部X線読影演習」は、胸部X線の読影技術の向上に有益と考えられる。近い将来、この「肺がん検診のための胸部X線読影演習」を用いて、「所定の方法にしたがって演習を行うことで、『肺癌診断を主とした胸部X線読影講習会』への参加の代替とできるシステム」を構築することを検討中である。